

# News Release

## 第46回 全国フロントマン選抜技術競技会の結果について 佐賀県の城島 勝彦さん〔社名 株式会社 城島自動車〕が最優秀賞を受賞

J A 共済自動車指定工場協定会〔愛称：J A R I C（ジェイエリック）／事務局：J A 共済連全国本部自動車部〕主催の第46回全国フロントマン選抜技術競技会が11月10日（金）にJ A 共済 幕張研修センターにて開催され、以下の通り、最優秀賞1名をはじめ、優秀賞2名、敢闘賞2名が決定しましたのでお知らせします。

### ◇最優秀賞

佐賀県 城島 勝彦（じょうじま かつひこ） 株式会社 城島自動車

### ◇優秀賞

鳥取県 田中 智（たなか さとし） 田中自動車钣金塗装 株式会社  
長崎県 松尾 啓介（まつお けいすけ） 元町ボデー

### ◇敢闘賞

島根県 岩田 直也（いわた なおや） 有限会社 加茂自動車工業  
福岡県 峰岡 満（みねおか みつる） 有限会社 日興産業

## ■ J A R I C と全国フロントマン選抜技術競技会について

J A R I C は、J A ・ J A 共済連と自動車修理工場の相互による発展を目的とした組織で、現在、全国で約1,600の工場が加盟しています。その中でフロントマンは工場の代表者としてドライバーの相談窓口になるとともに、工場内においては作業指示者、作業工程管理者の役割を担っています。

J A R I C では、フロントマンの技術向上を図り、優良かつ迅速な修理を行うことを目的に、昭和49年から「全国フロントマン選抜技術競技会」を実施しています。出場資格は、各県域大会の成績優秀者で、本年は15名の精鋭フロントマンが全国大会に出場しました。

競技会では、フロント部とリヤ部が損傷した2台の事故車について、1台につき制限時間110分以内に損傷程度やパーツ交換の必要性、工賃などを確認し、損害修理見積書を作成。11月16日（木）に全国技術アジャスター協会 平林康男会長をはじめとする5名の審査委員が、その精度を評価しました。

## 第46回全国フロントマン選抜技術競技会 大会概要

---

### ○ 開催日時

令和5年11月10日（金）12：30～16：55

12:30～12:50： 開会挨拶（J A 共済自動車指定工場協力会会長 高間 専逸）

13:00～14:50： 見積競技（1台目：フロント部損傷車）

15:05～16:55： 見積競技（2台目：リヤ部損傷車）

16:55： 閉会

### ○ 競技会場

J A 共済 幕張研修センター（千葉県千葉市美浜区若葉3-2-8）

### ○ 競技参加者

各都道府県の指定工場に勤務し、当競技会開催年度に各都道府県本部の主催によるフロントマン選抜競技会において優秀な成績を修めた15名が参加。

### ○ 競技内容

事故車両の損害見積。

（フロント部損傷車1台、リヤ部損傷車1台の計2台の車体について、持ち時間（1台110分間）で見積精度を競います。）

### ○ 審査について

11月16日（木）に実施された審査委員会により、優秀者を選出。

## ■ 第46回全国フロントマン選抜技術競技会開会挨拶（要旨）

### J A R I C 高間 専逸会長

現場の第一線でご活躍の皆さまはご承知のことと思うが、修理・整備業界を取り巻く環境変化により、先進安全装置をはじめとした自動車メーカーの技術の高度化への対応はもちろん、フロントマンとしても、利用者に対する修理・点検箇所のわかりやすい説明や見積書の作成など幅広い技術が求められている。

当競技会が皆さまの技術研鑽の場となるとともに、フロントマン同士の交流を深める場となることを期待したい。

## ■ 平林康男審査委員長（全国技術アジャスター協会会長）審査講評

フロントマンにまず求められるものはお客様からの信用である。お客様の目が厳しくなった昨今の時勢だからこそ、信用される見積りを作成し、フロントマンが信用できる存在であることをお客様に示す必要がある。そのために、今後の実務においては、損傷の波及範囲や二次損傷の可能性を常にイメージすることを心掛けてほしい。

《写真》



第46回全国フロントマン選抜技術競技会 出場選手(集合写真)



JA共済自動車指定工場協会 高間 専逸会長 開会挨拶



見積競技風景(フロント部損傷車)



以上